

高島市内小学校三年生

「立志祭」に際しての作文

●「立志祭」について

「立志祭は明治四十一年頃から、青柳小学校を中心として実施されてきた歴史ある行事であり、藤樹先生の誕生日である三月七日に、子どもたちは九歳の頃の藤樹先生の思いを知り、今の自分を見つめ、自分の意志をもつための足がかりとしてきた。今もなお、藤樹先生の教えは、人を敬い思いやりの心を育む人間形成にとって大切なものであり、その教えを学び、心を豊かにたくましく生きていこうとする高島の子どもの育成をねらいとして、高島市内の小学校において立志祭を実施する。」(市教育委員会立学校教育課)

その具体的内容は学校によって異なりますが、三年生を対象に講話、「大学」唱和、「私の志」発表、藤樹紙芝居、藤樹カルタ大会等々です。今年度、安曇川中学校区では、四年ぶりに合同で開催されました。

また、高島藤樹会では七年前からその「立志祭」において、広報・啓発活動の一環として、「五事を正す」とキャラクター「よえもん君」を印刷したクリアファイルを市内三年生全員に贈呈してきました。立志祭の当日に、当会の理事、もしくは校

長先生から三年生にクリアファイルを渡していただきました。なお、当日「五事を正す」などについてのお話をする時間をいただけた会場もありました。お世話になりました各学校及び理事の皆様、ありがとうございました。

立志祭終了後、四小学校から三年生の作文をご提供いただきましたので、次に紹介させていただきます。

【安曇小学校】

「立志祭に参加して」

西沢 莉心

三年間コロナで地いきの取り組みができていなかったから、こうやって他の学校と交流できたことがうれしかったです。今日はたくさんの方の話をたくさん聞きました。今日学んだことはしっかりと頭に入れて、今後たくさん生活に生かしていきたいと思いました。またこの勉強をして藤樹先生にちなんだことをたくさん知ることができたので、良かったです。

「藤樹先生から学んだこと」

中村 和奏

藤樹先生から学んだことは、全部覚えて意識していきたいです。五事を正すについての話を聞いて、「そういえば、五事を正すっ

てあまりできていなかったかも。」と思っていたので、これから気をつけていきたいです。致良知や孝行も大切にしていきたいです。特に、致良知が心に残ったので良く覚えておきたいです。孝行は普段も少しだけできていたかもと思っていたので、これから今までより頑張りたいです。



藤樹書院でお話を聞く

【青柳小学校】

「立志祭に参加して」

川崎 遥斗

立志祭の会場に行くと、保育園と同じだった友達を見つけた。遠くで声はかけられなかったけど、嬉しくなりました。ぼくはみんなの志の発表を聞いて、「ぼくの志と同じ」「サッカー選手になりたい」という人がいて嬉しかったし、もっと練習を頑張ろうと思

ました。

藤樹先生から「孝行」「五事を正す」「知行合一」を学びましたが、ぼくはとくに「孝行」を大切にしたいと思いました。

「藤樹先生から学んだこと」

岡本 雫葉

立志祭では「孝行」という言葉をくわしく知りました。孝行は親だけではなく自分や周りの人や物に関わる人の心も大切にすること、自分が分かりました。私は「五事を正す」の貌言視聴思をはじめ聞いた時は、この言葉は何のことかさっぱり分からなかったけど、意味を聞いたらとても大切なことだと思いました。私はこの貌言視聴思の中でも特に「言(思いやりのある言葉で話しかける)」を大切にして、優しい人になりたいと思います。

【本庄小学校】

「わたしの思い」

保木 勇人

▼立志祭に参加して▲
とうじゅ先生の話をたくさん知ることができました。「五事を正す」や「致良知」「孝行」など、おぼつかしいけれど大事なことをいっぱい教えてもらいました。一月からとうじゅ先生のすごいこ